特集

中学校の部活動が変わります

中学生が『ウェルビーイング※』を感じながら、地域の中でやりたいスポーツ・文化芸術活動に挑戦できる場を目指します。

※ウェルビーイング：楽しい、充実感や成長していることを感じるなどの、心も体も幸せな状態

部活動相談室

まさや
来年からボクは中学生
科学部に入りたいんだけど
9:50

さとう先生
実は、来年から科学部はなくなるんだよ…
既読3 10:00

まさや
え!?
10:20

まさや
どうしてなくなるの？！
10:22

さとう先生
生徒数が減っていて部員数が少なくなっているからなんだよ
既読3 10:30

まさや
他の部活はどうなっているの？
バレー部やバスケ部は？
10:35

さとう先生
うちの学校は変わりないけど、他の学校の人数が少ない部活では他の学校と合同で活動しているところもあるよ
既読3 10:50

まさや
お母さんやお父さんは部活がなくなっちゃうって言ってるんだけど…
なくなっちゃうとさびしいな…
10:52

さとう先生
なくならないよ！
みんなのやりたいことがどうしたらできるのか地域の皆さんと一緒に考えていくよ
既読3 11:01

かおる
私は練習時間のことが気になります
11:20

さとう先生
今の部活は、毎日行わず平日は4日、土日はどちらかが休みなんだ。時間も、平日は2時間程度、休日も3時間程度までとなっているんだよ
既読3 11:25

かおる
練習って厳しいんですか？
11:32

さとう先生
やりすぎて心や身体を壊さないように、「指導者の心得6カ条」っていうのがあるんだ
これから学校の部活や地域の活動に広めていくよ
みんなのやる気や主体性を大切にしているよ
既読3 11:45

さやか
私は吹奏楽部に入りたいんだけどたまには運動もやりたいな
11:50

さとう先生
全市型競技別スポーツスクールで、レベルに応じたいろんな種目を楽しめるよ。これからは全市型競技別スポーツスクール以外の活動も考えていくよ
こちらから申し込んでみてね→
既読3 12:00

解説！

部活動の現状と課題

- 部員数の減少
- 部活動の過熱化
- 指導可能な教員の不足
- 部活動数の学校間格差

部活動の意義と役割
(飯田市中学校部活動の活動指針より)

- 部活動は、各活動に興味や関心をもった同好の生徒が参加し、体力・知識・技能の向上を図る以外にも、異年齢との交流の中で、生徒同士や教員等との好ましい人間関係の構築を図り、自己肯定感や責任感を育むなど、生徒の自主的で多様な学びの場として、教育的意義を有しています。
- 生涯にわたりスポーツ・文化芸術活動に親しむ習慣を身に着け生徒が心身ともに健やかに成長する上で重要な活動です。

めざしていく姿

令和5年度から、段階的に休日の部活動が地域の中の活動として行えるようになったり、やりたいスポーツ・文化活動に挑戦できるような活動の場を、地域の実情に応じてつくっていきます。
部活動の意義を引き継ぎながら、「地域の子どもたちは、学校を含めた地域で育てる」という考えで、学校・家庭・地域・行政が一体となり、単なる部活動の受け皿ではなく生徒がやりたいことにチャレンジできる活動の場を地域の中につくっていきます。
※国や県からも少子化の中でも将来にわたり子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会の確保についての提言がされています。

解説！

活動指針

国や県の指針を踏まえて飯田市教育委員会が作成し、全中学校に配布している「飯田市中学校部活動の活動指針」にて示されています。

解説！

指導者の心得6カ条

全市型競技別スポーツスクールでは、指導者が保護者とともに子どもの最大の理解者であり最高の応援者となるために、以下のことを大切にしています。

1. お互いを認めあえる”人”を育てます。
2. プレイヤー自身が“考える”ことを尊重します。
3. 勝敗よりも、プロセスを重視します。
4. ケガやバーンアウト（燃え尽き）から守ります。
5. 指導のあり方を学び続けます。
6. 生涯、スポーツを楽しめる大人に育みます。

解説！

全市型競技別スポーツスクールと冬季ジブン・チャレンジの取組み

中学生の主体性を尊重した活動であり、生涯にわたってスポーツ・文化芸術活動に親しむ心を育むために、中学生が自ら選択できる機会をつくっていきます。

1. **全市型競技別スポーツスクール**
(公財)飯田市スポーツ協会とともにスポーツをやってみたい、もっとうまくなりたいと願う生徒の皆さんのために、スポーツ活動の新しい場をつくっています。
2. **冬季ジブン・チャレンジ**
完全下校が早まり部活動がオフになる11月～1月を「冬季ジブン・チャレンジ期間」として展開し、この期間に学校の授業や部活動以外での様々な活動を提供しています。

解説！

お子さんが心身の健康を保ちながら色々なことにチャレンジして、人生を豊かにしていけるように、保護者の皆さんも一緒に考えていただければ幸いです。